



# 教科等横断型教材の開発 小学校第3学年

## 社会科・国語科

<研究単元>  
 社会科: 東京書籍  
 「店ではたらく人」  
 国語科: 光村図書  
 「わたしたちの  
 学校じまん」

### 研究の目的

小学校社会科と国語科において、言語活動の充実の視点から、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に役立つ横断型教材を開発し、それらを活用して研修を実施する。

### 研究の方法

1年次 小学校社会科と国語科のカリキュラムを分析して、教科等横断型学習に最適な単元を検討し、教材を開発する。  
 2年次 キャリアアップ研修Ⅱ、出前講座等で活用し、改善を図る。

### <目指す子どもの姿>

- 【社会】調べた情報を整理し、販売の仕事と地域の人々の生活の関連を考え、適切に表現することができる
- 【国語】相手に伝わるように、理由や事例を挙げながら、話の中心が明確になるよう、話の構成を考えることができる
- 【共通】課題を発見し、学んだことを生かして解決方法を考え、実践し、伝え、共有し、振り返ることで、学びが深まる

### <教科等横断型学習問題>

スーパーマーケットではたらく人の工夫を調べ、家の人やスーパーマーケットの人に伝えよう

### 1 つかむ (5時間)

(全体・グループ)

- ①わたしたちは、どのような店で買い物をしているのだろう
  - ・よく行く店を白地図にまとめる
  - ・よく行く店を家の人に聞いてくるという見通しを持つ
- ②③家的人是、なぜその店に行くのだろう
  - ・家の人に質問するカードを作る
  - ・買い物調べの結果をまとめる
- ④スーパーマーケットに買い物に行く人が多いのはなぜかを話し合い、学習問題を作ろう
  - ・学習問題について予想し、学習計画を立てる
- ⑤見学の準備をしよう

### 2 調べる (8時間)

(全体・グループ)

- ①②③売り場は、どのようになっているのだろう
  - ・見学に行く
- ④売り場には、どのようなひみつがあるのだろう
  - ・売り場を見学して、わかったことを発表する
- ⑤はたらく人は、どのような仕事をしているのだろう
  - ・はたらく人の仕事について調べる
- ⑥たくさんの品物は、どこから運ばれてくるのだろう
  - ・品物の産地を調べ、他地域とのつながりを考え、話し合う
- ⑦たくさんのお客さんが来るのは、なぜだろう
  - ・お客さんが利用する理由を考える
- ⑧品物を売ることにほかに、どのような取組をしているのだろう
  - ・どのような取組をしているか調べ、特色を明らかにする

### 3 まとめる (2時間)

(グループ)

- ①②調べたことを振り返りながら、かべ新聞にまとめよう

### 振り返り【社会科】(各授業ごとに行う)

(個人)

調べたことを振り返りながら、学習問題についてまとめる

### 4 学習の見通しをもとう (1時間)

(全体)

- ①学習問題を考えよう
  - ・「社会見学発表会でスーパーマーケットの自慢をしよう」という学習問題を設定し、学習計画を立てる

### 5 スーパーマーケットのよさが伝わるように話す準備をしよう (4時間)

(グループ)

- ①自慢したいことを決め、理由を考えて資料を選ぼう
  - ・発表する場、相手、目的を確かめる
- ②組み立てを考えて、発表原稿を作ろう
  - ・「初め」「中」「終わり」の組み立てを考える
  - ・役割分担をして、発表原稿を作る
- ③④グループで練習をしよう
  - ・話し方の工夫を意識しながら、練習する
  - ・発表の内容や発表の仕方について、助言し合う

### 6 伝え合おう (1時間)

(全体・グループ)

- ①参観日にポスターセッション形式の発表会をしよう
  - ・感想を伝え合う
  - ・スーパーマーケットの人や家の人に感想を聞く

### 振り返り【国語科】(各授業ごとに行う)

(個人)

話し合いや発表の練習、話し方の工夫等、よかったところを見つける

### 7 いかす (1時間)【単元のまとめ】

(個人)

- ①これまでの学習をもとに、はたらく人の仕事について、提案文を書こう
  - ・調べたスーパーマーケットをよりよくするにはどうすればよいか考える

### 研究の成果

- ・標準時数、社会科16時間、国語科8時間、計24時間のところ、国語科の資料を集める時間2時間を、社会科で実施したため、社会科16時間、国語科6時間、計22時間にすることができた。教育出版国語科教科書「たからものをしようかいしょう」の単元でも実施可能である。
- ・国語科の、調べたことを文章で書く単元、光村図書「仕事のくふう、見つけたよ」、教育出版「取材して知らせよう」でも同様の方法で社会科と横断することが可能である。また、グループで話し合い活動をする単元、光村図書「はんで意見をまとめよう」、教育出版「絵文字で表そう」を先習しておけば、既習事項を生かしたグループ学習としても活用できる。
- ・教科等横断型教材の開発は、授業時数の効率化、授業内容の精選、学びの深化に有効である。